

オーストラリア金融政策（2026年6月）

4会合ぶりの政策金利据え置き

2026年6月16日

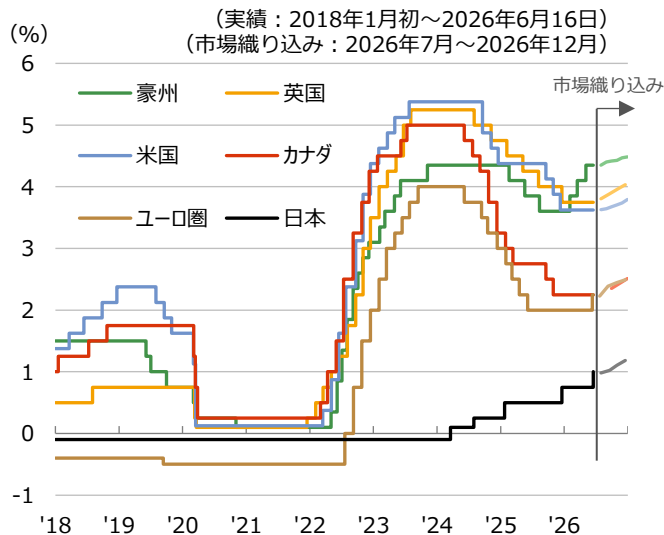
利上げ打ち止めの判断には、なお時間を要する見込み

RBA（豪州準備銀行）は6月15日（現地、以下同様）から16日に開催した理事会で、政策金利を4.35%に据え置くことを決定しました。RBAは前回まで3会合連続で利上げを決定しましたが、前回の利上げで金融政策は「やや引き締めの」になり「中東情勢の行方や家計と企業の反応を見る余地が生まれる」と表現し、目先の様子見を示唆していました。今回の決定はこれに沿ったもので、サプライズはありません。

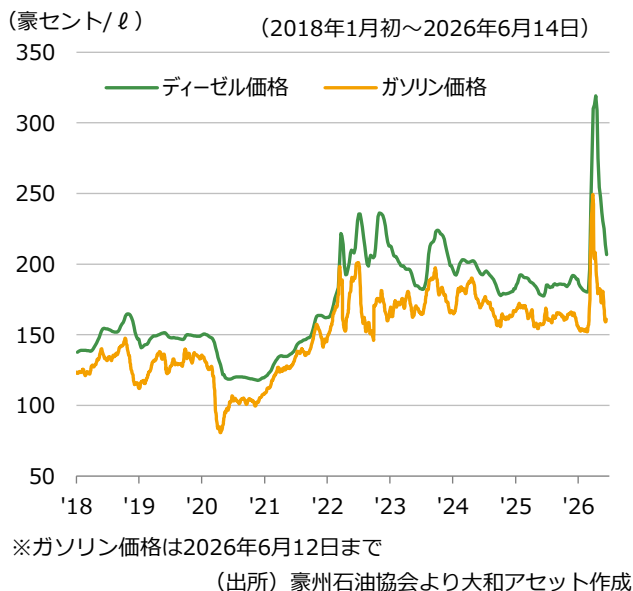
声明文では、利上げの効果による個人消費や住宅市場の減速を指摘しつつも、労働市場の底堅さや設備投資の強さ、燃料高が他の財やサービスに波及している兆候に言及し、インフレ高止まりへの警戒を維持しています。4月からの燃料税減税によってディーゼル価格やガソリン価格の下落が鮮明になる中、直近では米国とイランの和平合意による原油価格の下落で燃料高に伴う直接的なインフレへの懸念が一段と後退しました。ただし、燃料税減税は6月末に期限を迎えるため、その延長の有無が注目されています。先行き不透明な状況が続く中、RBAは高インフレが定着しないよう必要であれば利上げを辞さない構えです。

当社は引き続き年内の政策金利据え置きを予想しています。ただし、燃料税減税の即時終了や企業の積極的な価格転嫁による利上げリスクの高まりには注意しています。いずれにしても、当面は主要先進国で豪州の政策金利が最も高いという状況は変わらない見込みです。中東情勢の沈静化で市場のセンチメント改善とボラティリティ低下が進めば、キャリートレードで豪ドルが買われやすい展開になるとみています。

各国・地域の政策金利



豪州のディーゼル・ガソリン価格（全国平均）



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management